

各委員会で先進地を視察しました

総務委員会

10月2日～4日

・岡山県新見市「平成30年西日本豪雨災害と防災について」

平成30年に浸水等の被害に見舞われ、市民の防災知識の不足が課題であるとの認識であり、出前講座の依頼も増えている。

・島根県出雲市「自治会応援条例・地域自治区制度廃止について」

自治会加入率が低下し続け、総合的な地域力が弱体化することが懸念されるため、自治会等を応援し活性化させるための条例を制定した。

・岡山県高梁市「JR備中高梁駅の整備について」

通学時間に多くの生徒が利用し、歩道の安全確保が困難であったため、東西連絡道の整備を行った。また、JRとの協議により老朽化した駅舎改修に伴い駅を半橋上化することとなった。



高梁市役所にて

産業建設委員会

10月2日～3日

・新潟県妙高市「国際観光都市MYOKOについて」

北陸新幹線の開通等により、観光客は増加傾向。外国人観光客を対象とした誘客事業も推進しており、外国人のインバウンド専門員の雇用や、各国の文化にあった誘客宣伝を行っている。



県北視察の様子

・長野県千曲(ちくま)市「千曲市の観光戦略について」

市の特産品のあんずの高品質化事業や、近隣市町と構成するワイン特区の事業など、農産物を活用した観光事業を展開すると同時に、映画ロケの誘致も行っており、有名な映画のロケ誘致にも成功している。



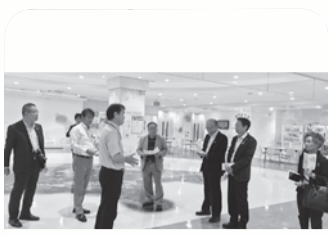
研修の様子

教育民生委員会

10月2日～4日

・福岡県北九州市 公益社団法人北九州高齢者福祉事業協会「高齢者福祉事業について」

施設入所待機者について市独自の基準を作成し、市内の施設共通となる入所判定システムを開発・導入している。



ふくふくこども館にて

・山口県下関市「ふくふくこども館」

下関駅のにぎわい活性化の一環。子育て包括支援センターの役割を担う複合施設。1、2階フロアは商業施設となっている。

・広島県呉市「データヘルスによる健康寿命の延伸について」

平成20年にレセプトのデータベース化を導入。ジェネリック医薬品の利用促進や「糖尿病性腎症等重症化予防事業」を展開。糖尿病による人工透析患者数の減少に大きな成果を上げている。

議会運営委員会

10月7日～9日

・福島県会津若松市議会「市民参加型政策サイクルの取組について」

市民との意見交換会を起点として、市民からの意見を整理し、その中で問題発見、課題を設定し、政策討論会において課題分析・調査、政策立案を行う政策サイクルに取り組んでいる。

・茨城県取手市議会「市民との対話重視の実践事業について」

市民との意見交換会を重視した議会報告会の開催、市内中学生と議会の合同企画「議会を知り・未来を語る」事業、ワールドカフェ方式(対話による課題抽出)の取入れなど、様々な手法を用いて市民との対話重視の事業を実践している。



会津若松市役所にて